

ビリヤード競技とは

ビリヤードは14世紀ヨーロッパを起源とし、元々屋外競技であったものが徐々に変化し、現在の形になったと言われています。

競技方法は布を張った大理石のテーブル上で、キューと呼ばれる棒状の道具を使って球を撞き、技術の緻密さや戦術を競うメンタルスポーツに分類されます。

生涯スポーツとしてのビリヤード

陸上競技や他の球技と違い、ビリヤードは体力の優劣や年齢により勝敗が左右される要素が少なく、お子様から年配の方まで広い年代層に楽しんでいただくことができるスポーツあり、技術力と知識・判断力等を駆使する知的スポーツでもあるのです。



高齢者大会での一場面



小学生向けビリヤード教室

誰でも気軽に参加する事ができるだけでなく、国内をはじめ国際的な大会も開催されているので、娯楽として、本格的な趣味として、ビリヤードは広く多くの方に親しまれています。

いろいろなビリヤード競技

ビリヤード競技には大きく3つの種類があります。使用する用具やルールにより下記のように分類されます。

ポケットビリヤード

最も一般的な競技で、キューを使って自分の球（手球）を撞き、テーブルに開いた穴（ポケット）にボールを入れる事で勝負を競う競技です。

キャロムビリヤード

ポケットビリヤードよりも歴史は古く、ポケットの無いテーブル上においた2～3つの球（的球）に自分の球（手球）を接触させ勝負を競う競技です。

スヌーカー

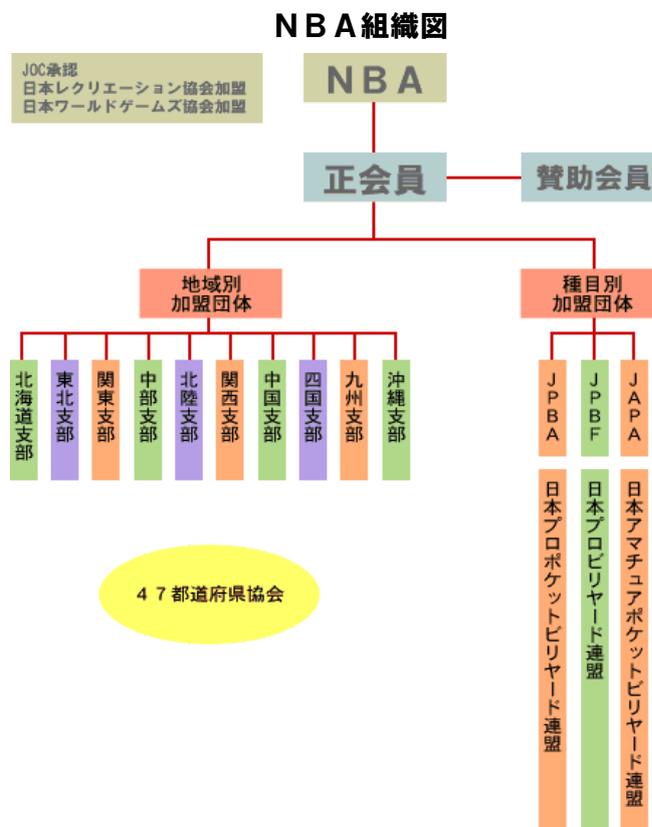
ポケットビリヤードで使用するものより大きなテーブルと小さな球を使用し、ポケットさせることで勝敗を決する競技です。

NBA（日本ビリヤード協会）

現在日本国内のビリヤード・スポーツを統括するのは、社団法人日本ビリヤード協会（N.B.A.）です。その前身は、大正15年に発足した日本撞球協会を経て、昭和26年に設立された日本ビリヤード協会です。

また、1996年にはWCBS（世界ビリヤードスポーツ連合）がIOCより、オリンピック・ファミリーとして認められ、1998年のアジア競技大会にはビリヤードが正式種目として参加。ここで金メダル1個、銀メダル2個、銅メダル2個という好成績を治め、JOCからも高い評価を頂きました。

1997年秋にJOCの承認団体になり、国内ビリヤード・スポーツの前途も洋々のものがあります。同時に、競技スポーツとしてだけでなく、生涯スポーツとしてのビリヤードにも目を向けていかなければなりません。NBAはこうした諸々の点に留意し、社会的なスポーツ団体として事業を展開しています。



NBAには地域別加盟団体と種目別加盟団体があり、それぞれの目的に応じた事業を展開しています。

地域別加盟団体

地域ごとに設置されている支部で、それぞれの地域において、ビリヤード競技の普及と振興を図る団体です。

種目別加盟団体

競技としてのビリヤードの発展を目標にし、選手の強化・育成を通じ、全体の競技レベルの向上を図る団体です。

千葉県のビリヤード組織

現在、千葉県にはNBAの地域別加盟団体であるCBA（千葉県ビリヤード協会）と、競技別加盟団体であるCPBA（千葉県ポケットビリヤード連盟）があり、お互いの組織が協力し合いビリヤード競技の振興と選手の強化育成を行っています。

CBA（千葉県ビリヤード協会）

NBAの地域別加盟団体であり、国民体育大会への選手の派遣や県内のアマチュア大会の企画運営、また生涯スポーツとしての教室の開催や千葉県レクリエーション協会への参加等、ビリヤード競技の底辺拡大と普及振興に関する事業を行っています。



CBA主催による千葉県9ボールチャンピオンシップ

CPBA（千葉ポケットビリヤード連盟）

NBAの競技別加盟団体であるJAPA（日本アマチュアポケットビリヤード連盟）の千葉支部であり、選手の強化育成に努め、全国都道府県対抗ポケットビリヤード選手権大会優勝をはじめ、国内のアマチュア大会において優秀な成績を収めています。

また、関東をはじめとする様々な大会にも運営員・審判員を派遣する等、協議の円滑な運営に貢献しています。



14回目となるオール千葉アマチュア9ボール選手権大会（昨年9月）

千葉勢が上位を独占した東日本山梨9ボール選手権大会（本年5月）



国民体育大会におけるビリヤード競技の位置づけ

平成22年に千葉県で開催が予定されている国民体育大会（国体）において、ビリヤード競技は準加盟団体として、「デモンストレーションとしてのスポーツ競技」（以下、デモスポ競技）に位置付けられています。

通常、国体開催年に行われるデモスポ競技大会は県内在住の選手による小規模な大会となります。

一方、国体が開催される前年に「国民体育大会記念大会」が開催され、準加盟競技はこの記念大会において、全国から選手を招いての大規模な大会を開催することとなります。

国体記念大会の経緯

ビリヤード競技は平成14年に開催された「第58回静岡国体」の記念大会に初参加をした後、本年度で6回目、平成21年の千葉国体記念大会で8回目の参加となります。

開催年度	開催回	開催都市	
平成14年	第58回記念大会	静岡県	
平成15年	第59回記念大会	埼玉県	さいたま市
平成16年	第60回記念大会	岡山県	新見市
平成17年	第61回記念大会	兵庫県	伊丹市
平成18年	第62回記念大会	秋田県	秋田市
平成19年	第63回記念大会	大分県	速見郡日出町
平成20年	第64回記念大会	新潟県	新潟市
平成21年	第65回記念大会	千葉県	未定